

◇2017 年 5 月 25 日（木）19:30～20:00 エフエムたいはく（78.9MHz）

◇第79回『じょぶネタ！ワン・タイム・トーク』

◇ゲスト：成田敦（なりたあつし）さん／一社シルバーパートナーズ副会長、鍵の救急車勾当台店 店長、株式会社アーネスト代表取締役

◇パーソナリティ：笹崎久美子（ささざきくみこ）／人材育成コンサルタント

※この番組に関する詳細は以下をご覧ください。

[http://jobneta.sasamedia.net/207-0518\\_narita-atsuhi/](http://jobneta.sasamedia.net/207-0518_narita-atsuhi/)

・・・文字起こしデータ・・・

——成田さん、なにか最近動物を飼われたって伺ったんですけど。

成田 ヒメウズラっていうのを 4 匹飼っています。

——それはまたどうして？

成田 娘の誕生日のプレゼントに孵化器と卵を 7 つセットで買ましてね、それが 4 つ孵化したと、それが 4 羽ですかね。

——その話もあとでゆっくりお聞かせください。

——ということであらためまして、こんばんは。

成田 よろしくお願ひします。

——最初にウズラを飼っているというお話だったんですけど、お名前をご紹介します。一般社団法人シルバーパートナーズ副会長の成田敦さんです。よろしくお願ひします。気になったんですが、孵化器、ウズラの孵化セットという感じですか？

成田 そうなんです。電気を繋いでまして 1 時間に 1 回、卵が回る仕組みになっているんですよ。

——1 カ所に固定されないように、ってことですね？

成田 そうです。まんべんなく温めるのでしょね。

——親鳥が温めるのと同じような感じで。そして孵化するんですね？

成田 そのスイッチを入れて、何日目に生まれるってだいたい決まってるらしいんですね。ちゃんとその頃に4匹、ピューピューって生まれてですね。

——その瞬間、見るためにねばったりしませんでした？

成田 しました。会社に行くのをやめようと思ったくらいで。4羽のうち1羽だけでしたね、卵がばかばかと割れて、出てきたのを見たのは。

——残りは気が付いたらいたという感じなんですね(笑) ところでさっきからずっと気になってるんですけど、これなんなんですか？

成田 これは最新の鍵なんです。

——ちょっとどんな風に動かすのかやってもらってもいいですか？

成田 これ、リモコンです。このところに鍵の穴がついているので、一見普通の物かなと思いがちなんですけど、実はこれをリモコンをピッてやるとですね。

——おっ、なんか動いた。今、ゲストの成田さんが鍵のデモンストレーションを、デモ機を持ってきてくださって、リモコンで動く鍵とか、ペタッとSuicaみたいな。

成田 スマホみたいなのが付いてるんですけど、ここが色々認証するんです。ID認証といって、ここをピッとさわると、こんな感じで。テンキーになっていまして、4桁を押すと、こんな感じで。

——なんか複合機って感じがしますね。色んなスタイルで、リモコンでも、暗証番号でも、カードをかざしても開くんですね。すごい。面白いですね。

ということで、実はさきほど成田さん、シルバーパートナーズの副会長さんということなんですけども、お仕事を通じて色んな方たちが、ご高齢の皆さんを応援するという活動をなさっているということなんですよ。

成田 そうなんです。

——せっかくなので団体のことも含めてご紹介していただいてよろしいですか？

成田 宮城県のシニア世帯のための生活便利帳という、こういうカタログを作っておりまして、いわゆるシニアの方と家族の困りごとを解決するプロ集団という、一言でいうとそういうことです。宮城県で活躍する 35 人の人たちが構成されていまして、この人たちがありとあらゆる手段で問題を解決していくと、そういう団体になります。

——一般社団法人シルバーパートナーズさんですね、本日のスポンサーということでご協力いただいているんですけども、チラシを拝見いたしますと、「遺産、財産、保険、労務の分野」「住まいの分野」「生活の分野」「学ぶ教室の分野」「住宅リフォームの分野」「医療の分野」「メモリアルの分野」などの分かれていまして、私も見たことがある、個人的にも親しい皆さんが揃っているのですが、色んな経営者さんとか、事業者さんが自分の仕事を通じてご高齢の方を支援するという認識でいいんですか？

成田 なにかお困りごとがあったら相談にのったり、適した肩を紹介して、そのサービスを受けられるようにしたり、そういったことですな。

——じゃあ、業者さんをつなぐようなそんなイメージですね、ネットワークというか。じゃあ、お願いするときは、それなりに料金はかかるという（笑）

成田 実際にサービスを受ければそれなりに費用はかかります。

——だけど、そこに至るまで、どこに相談したらいいかわからないとか、こういうことってどうすればいいの？ ってところをネットワークとして受け付けているということですね。今までこういったご相談があったんですか？

成田 まだこれできてそれほど経っていないんですけど、今は月に 1 度、定期的にセミナーを開いております。ここにいる先生方、プロの人たちが月に 2 人ずつ、40 分くらいずつ自分のお話をさせていただいて、その方のお話を聞きに、主に高齢者の方が来てくださるという状態です。我々も、メンバーの人間も多く会場に伺って、そこで一緒に話を聞いて、一緒に勉強するという形でやっています。

——そうやって何回も来てくださると、ご高齢の方と仲良くなったりとか、新しい関係ができるんじゃないですか？

成田 そういうのも 1 つの狙いです。

——成田さんは本業が、鍵の救急車・勾当台店さんというところで、鍵屋さんなんですけど、こういったデモで見せて頂いた最新式の鍵というのもシルバーパートナーズさんに関わりがあるんですか？

成田 例えば、今日持ってきているものは、さっきもやってみたんですけど、リモコンで鍵を開けたり閉めたりができるんですね。例えば、高齢の方が家のなかにおいて、脚が不自由だったりされた場合、ピンポンとヘルパーさんが来て、ああどうぞということで、ドアフォン越しに、どうぞと言ってリモコンでピッと押せば、ドアを開けてヘルパーさんが入ってくることができるということです。

——そのドアのノブの辺りにつけると、自分が行かなくても開錠が可能ということですね。他にも色々あるんですか？

成田 この型ですと、例えば手が震えていれにくいとかいう場合にも使いやすいですし、カードをあてがうものもそうですね。それなら高齢の方でも使いやすいと思います。

——私も手は震えないですけど、鍵穴が見えなかったりしますからね。

そういう風に鍵なら成田さん、他の分野なら他の方が相談に乗ってくださるということ。以前ね、加藤さん、株式会社オーライの加藤さんが番組に来て少しお話をしてくださったんですけど、結構拡大している感じですね。

成田 以前は名簿もペラペラでしたけど、今は35社、35人のプロがいますので、大きくなってきました。

——活動の内容もまた詳しく伺うことにいたしますが、この辺で成田さんのリクエストをお送りいたします。ゆずの『栄光の架橋』なんですけど、なにかエピソードはあるんですか？

成田 やっぱりオリンピックですかね。この曲がかかるとジーンと来てですね、その時の映像が頭に思い浮かびますし、酔っぱらうと、つい歌ってしまうんですよ。

——ゆずで2004年、平成16年のナンバーです『栄光の架橋』

——はい、ゆず『栄光の架橋』をお送りしました。いい曲ですねー。

成田 染みますねー。思い出しますね。

——本日は一般社団法人シルバーパートナーズ副会長で鍵の救急車・勾当台店の成田敦さんをゲストにお招きしております。後半もよろしくお願いいたします。ではこの辺で、たぶんフェイスブックで音がなっちゃったんですけど、メッセージが来てますので、動画を見ている方からです。いつもありがとうございます、ドラ息子さん。それから渡辺さんが、先ほど話していた、お話仲間の渡辺さんが、「成田さんががんばってください」ということでコメントが来ています。ありがとうございます。……

先ほどのシルバーパートナーズさんなんですけども、なにかこういったところで役に立っているというウリとか、お聞きの皆さんにお話したいことがあればということで、後半お願いしたいんですけど。

成田 ありとあらゆることを解決することができるプロ集団だという風に思うんですね。最近、宮城県の老人クラブ連合会さんとか、社会福祉協議会さんとか、そういったところからご依頼があって、こういうお話をして欲しいとか、私も 1 回お話をしたのは防犯の話なんですけど、あとは昨年、仙台市の聾啞者向けにセミナーをやって欲しいと依頼されまして、どうやってやったかと言いますと、手話なんですけど、私が喋ったことを同時通訳するんですね、手話で。その方々に聞いてもらおうと。

もっとすごいのが、その手話で聞いたものを、目の不自由な方に対して、手で言葉を送るということを同時通訳で、あれはなんだろうかね、手に書くんでしょうかね、そういう風に内容を伝える方法があって、すごいなーと思いました。

——その時の話は防犯に関するお話なんですか？

成田 防犯に関するお話なんですけど、耳の不自由な方はとても怖いと。急に人が現れるわけですから。なので、誰かが来たらライトがついたり、といったことを話したり、シルバーパートナーズのチラシにもあるんですけど、ファックス番号が書いてあるんですね、これは、耳の不自由な方から電話ができないということを聞いて、ファックス番号を載せるようにしたんです。

——私の親戚にもちょっと耳に不自由な方がいて、ついつい私は忘れていて電話しようと思ってしまうんですけど、そうじゃないんだと思いなおして、贈り物をされた時とかにファックスとか使うんですけど、ファックスも音が聞こえないので気づくの遅れるみたいですね。私たちには想像できない世界があったり、不安があったりするものなんですよ。

そのセミナーで、アドバイスとしてはどういったことをされるんですか？ 鍵のことで

成田 アドバイスというか、セミナーを一方的にこちらからお話をしただけなので、わかってもらえたかどうかはわからないんですけど、私、緊張してなんか喋れなくなってきました（笑）

——もし、同じような環境の方がいらっしゃったら、こういうところに気を付けたほうがいいとか、今はこういう鍵があるとか、そういったところがなにかヒントになったんじゃないかと思ったんですけど。

成田 そうですね。我々の持っているものが、なにかお役に立てることもあると思いますので、個別に色々ご相談していただければと思います。

——ではシルバーパートナーズさんの電話番号をラジオですので、音声になってしまいますけど、ご紹介いたします。一般社団法人シルバーパートナーズさん、電話番号は 022-796-8655 です。場所は、加藤さんのところですね、オーライさんの宮城県仙台市太白区柳生 2 丁目 3 0 - 1 というところです。

シルバーパートナーズさん、シニアとご家族の困りごとの解決プロ集団ということですが、副会長さんなんですよ？ 今後どういう人たちに、集団としても仲間に入ってきて欲しいというのがあると思うんですけど。

成田 そうですね。仲間も募集しておりまして、シニアのお手伝いができる業種の方がいれば、一緒に仲間に入っていただきたいと思います。今、35 の業種の方が参加しているのですが、同じ業種の方は残念ながら入れない仕組みになってまして。

——成田さんしか鍵屋さんは入れない？

成田 そうなんです。そういう形なんです。

——この辺が足りませんよというところがありますか？

成田 遺品整理をやられる方はすでにいるんですけど、車の処分をしたいという時に車の専門の方がいないですね。役に立つ方であれば、どなたでもいいと思うんですけど。

——例えば、ボランティアで仲間に入りたいという方でもいいんですか？

成田 いいと思いますよ。

——いい活動なのでどんどん広まって欲しいんですけど、シニア以外の方限定なんですよ。シニアって何歳以上なんですか？

成田 シニアの方じゃなくても、仕事を頼みたい方がいれば、もちろんいいんですけど。

——これはシルバーパートナーズで、一応シニアの方のお役に立ちたいというものなんですけど、たまたまうちのこれ頼みたいという若い方がいても、それはそれでいいっていうことなんですね？

成田 もちろんです。

——だとしたらこれいいですよ、便利帳になりますよね。

成田 どこかに穴をあけてぶらさげておいて欲しいですね。今回新しくして一般社団法人になったんですよ、この前まではただのシルバーパートナーズだったんですけど、4月の下旬に一般社団法人になったばかりなんです。5月27日には設立総会をやるんです、茂庭荘さんで。

——楽しい会になりそうですね。

成田 その準備を今しているところなんですけど、結構準備が大変で。

——三十数社も集まるわけですからね。ちょっとひとつ取り上げるのは不公平かもしれないですけど、認知症予防マージャン教室ってところ、いいですね、宮野さんね。

成田 これすごくいいみたいです。痴呆の防止になりますし、頭をすごく使いますよね。人気があるようです。

——ちょっと関係なくなっちゃうんですけど、私、太白区の街づくりを手伝いする活動があるんですけど、今、ご高齢の方で歌声喫茶が大流行りなんです。女の人たちが昔の流行った歌なんかを歌うのがすごい流行ってるんですよ、太白区内で。

成田 ストレス解消にもなりますしね。

——懐かしいんだと思いますよ。ワタナベミキコさんは野口五郎さんがリクエストだったんですけど、昔の歌が聞きたくなるみたいですね。喫茶じゃないんですよ、公民館に集まっ

てガンガン歌うんだそうです。カラオケはないから、ピアノを伴奏にして、そんな風に歌うって言っていました。

お困りを解決するのも1つの目標としつつ、元気になるものがあっていいですね？

成田 ここにも、脳活ピアノとか、ラベイユ音楽教室とか、ありますのでね。面白いですよ。

——利用していただきたいなと思います。今日は、一般社団法人シルバーパートナーズ副会長で鍵の救急車・勾当台店の成田さんにお話を伺いました。いかがでしたか？

成田 緊張しました。長かったです（笑）

——次回、いつか出ていただくことを期待していますので、その時はどうぞよろしくお願いいたします。

成田 ありがとうございます。